

# 農作業特報

黒部市  
黒部市農業技術会議

稲の生育は、近年に比べ2日程度早く進んでいます。  
中干し後、幼穂形成期頃までは間断かん水を行い、根に水分と酸素を十分に補給して、稲体の活力維持に努めましょう。

◇コシヒカリの生育状況（6月21日現在：黒部市生育調査ほ13カ所平均）

	草丈(cm)	茎数(本)		葉齢	葉色
		株当たり	m <sup>2</sup> 当たり		
28年	48.0	27.2	522	10.5	4.1
近年	48.6	26.7	515	10.1	4.5

※目標穂数：400本/m<sup>2</sup>

## 1. 中干しの徹底（不十分な場合）

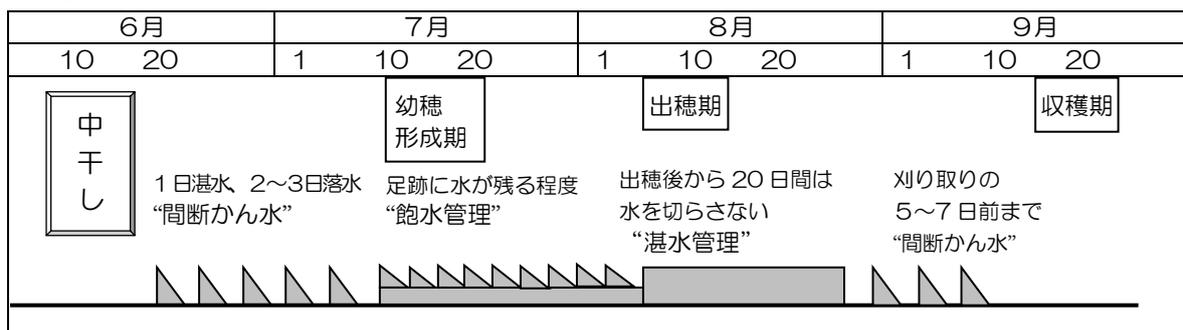
カドミウム吸収抑制のため、「出穂後20日間の湛水管理」は必須です。  
収穫時のコンバイン作業をスムーズに行うためにも、中干しが不十分な場合は、直ちに干し、田を固めておきましょう。

## 2. 中干し後の水管理

しっかり田んぼが干せた後は、幼穂形成期頃まで「間断かん水」を行います。

◆間断かん水の目安：1日湛水、2～3日落水。湛水時はヒタヒタ水で。  
コシヒカリで、茎数が多く葉色が濃い場合は、落水期間を長くし、やや強めに干しましょう。

コシヒカリの水管理のイメージ



### 3. てんたかくの穂肥

てんたかくの穂肥の目安

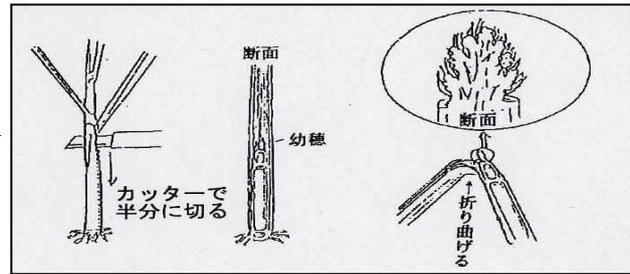
1回目（出穂25日前）				2回目（出穂15日前）	
時期	幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
6/25～ 6/28頃	1～2mm	4. 2	追肥化成3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	LP追肥38号 15kg/10a

※中山間地では上表の施用時期より遅くなります。幼穂長を確認して施用しましょう。

※1回目の穂肥施用前に葉色が4. 2以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

#### 【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い茎を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



### 4. 雑草・病害虫の随時防除

○雑草が残っている場合は、後期除草剤を散布しましょう。

除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
クリンチャー 1キロ粒剤	※1.5kg /10a	田植後25日～ ノビエ5葉期まで *収穫30日前まで	※増量散布によりヒエ5葉期に効果有 5cm程度の深水にして散布し、その後は 自然減水により管理。
バサグラン 粒剤	3～4kg /10a	田植後50日まで (クログワイは田植 後35日まで) *収穫60日前まで	落水して雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は水を入れない。イネ科雑草以外に効果あり。

○畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬 ～7月上旬	トレボン粉剤DL	3～4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

○いもち病の発生がみられたら、早めに防除しましょう。

ブラシン粉剤DL 4kg/10a

### 5. カメムシ対策

斑点米の原因となるカメムシ類の発生が平年より多くなっています。ほ場周辺の雑草地等の草刈りを行いましょう。また、一斉草刈りの後は、できるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょう。

\*刈り取った草は、用水に流さないように注意して下さい。

\*草刈り時は保護具を着用し、農作業安全に十分注意して下さい。

草刈り運動期間 7月1日（金）～10日（日）  
一斉草刈り日 7月2日（土）・3日（日）



主要な斑点米カメムシ



アカヒゲホソドリカスミ

雑草地等のすくい取り調査結果  
(6月20日調査)  
平均虫数:7.7頭(平年3.7頭)